

環境経営レポート

活動期間：2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月31日

《 第16版 》



工場正面



自然が美しい丸子川

とろろで有名な丸子宿



工場内



《 ガイドライン 2017年度版 》

発行日：2024年 5月24日（金）

更新日：2024年 9月10日（火）

渡辺プレス工業株式会社

1. 取組の対象組織・活動の明確化

文書番号 01-01-01

(1) 会社概要

会社名 : 渡辺プレス工業株式会社
 代表者 : 代表取締役会長 渡辺年晟
 : 代表取締役社長 渡辺将弘
 所在地 : 〒421-0106
 静岡県静岡市駿河区北丸子2-8-30
 (静岡機械金属工業団地内)
 従業員数 : 男子 26名 女子 3名 計 29名
 (役員・派遣社員も含む)
 資本金 : 2,000万円
 年間売上高 : 547百万円
 決算期 : 年1回 3月
 敷地面積 : 2,650㎡
 建物面積 : 1,850㎡
 URL : <https://watapure.com/>



(2) 環境管理の責任者氏名・連絡先

責任者 : 代表取締役社長 渡辺将弘
 TEL : 054-259-8205 (代)
 FAX : 054-259-8207
 MAIL : wpk@guitar.ocn.ne.jp

(3) 沿革

明治 35 年 個人にて創業、家具金物製造を開始。
 昭和 10 年 永田部品製造株式会社の協力工場となる。
 23 年 株式会社 渡辺旭金工場（資本金195,000）を設立。
 38 年 三菱電機株式会社静岡製作所の協力工場となる。
 39 年 本社工場を静岡機械金属工業団地に移転。
 40 年 静岡労働基準局より、労務管理モデル事業場に指定される。
 45 年 現社名 渡辺プレス工業株式会社に変更。
 53 年 駒形工場を廃止、本社工場に統合。
 55 年 現資本金2,000万円となる。
 63 年 本社事務所完成。
 平成 6 年 中小企業退職金共済事業団より、感謝状を授与。
 7 年 静岡労働基準局より、安全進歩賞受賞。
 8 年 金型工場 増築完成。
 11 年 静岡労働基準局より、安全優良賞受賞。
 13 年 三菱電機株式会社静岡製作所より、VA提案感謝状授与。
 20 年 エコアクション21認証登録

(4) 事業内容

自動車・家電の板金部品の金型製作からプレス・組立加工

(主要取引先)

三菱電機株式会社静岡製作所様
 永田部品製造株式会社様
 中部抵抗器株式会社様



1. 取組の対象組織・活動の明確化

文書番号 01-01-02

(5) 事業規模 *従業員数に役員は含まない

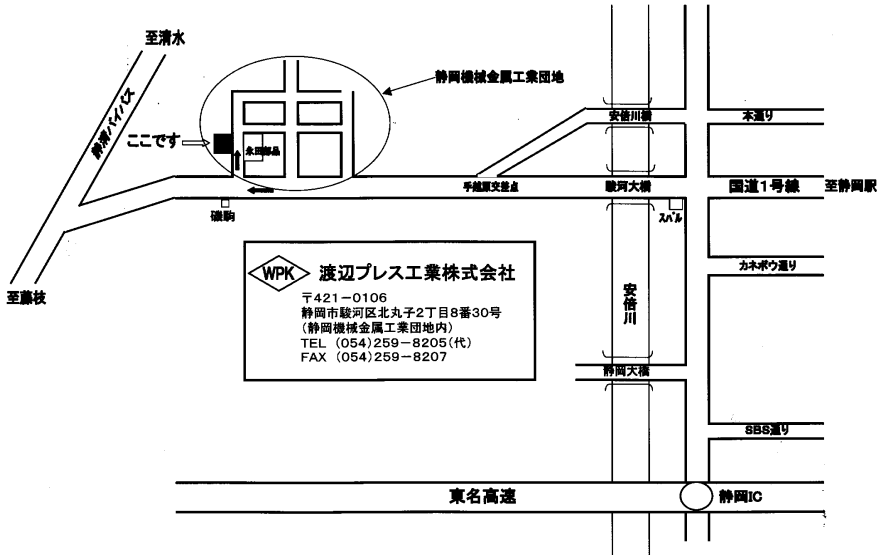
	単位	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
売上高	百万円	530	580	602	493	540	506	560
従業員数	人	25	29	26	26	26	26	26
床面積	m ²	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650
エコ トピックス		EA21へ挑戦	EA21受審	200t1台更新 110t150t更新	下水道へ 研磨機更新 電温水器導入	工場正面ラック 中2F増設	工場内 誘導等更新	アイドリング ストップ車導入 ラフェスタ

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
560	532	508	483	545	595	524
26	26	26	27	27	26	26
2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650
マシニング ワイヤー更新 トランス(微量)	コンプレッサー 更新 緑のカーテン実施	自主保全取組	微量PCB トランス処分 LED化推進	熱中症対策・ ウイルス対策 スタンド設置	デマンド設置 60t80t4台更新	キュービクル更新 ワイヤー更新 高圧開閉器更新

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
518	554	672	547
25	25	25	26
2,650	2,650	2,650	2,650
コロナ禍	コロナ禍 ロックダウン 半導体不足	コロナ収束 工場空調第一 期工事(生産棟)	160t1台更新

(6) 敷地概要

- ◎都市計画法での用途地域指定 : 工業地域
- ◎静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定
- 騒音 : 第4種区域
- 振動 : 第2種区域の2



2. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化

文書番号 02-01-01

	課題	チャンス	環境経営方針	環境経営目標 環境経営活動計画
外部	電気代の高騰	省エネによる競争力向上 (経営会議と連動)	省エネの推進	電気使用量削減●●%
	受注競争の激化 多品種小ロットなど 顧客要求の変化への対応	生産性向上 (JIT活動と連動)		
	品質における 顧客要求の変化への対応	不良率削減 (品質改善業務計画書に連動)	顧客満足度の向上 客先不良の削減	不良率削減●●%
内部	電気の大量使用	省エネによる競争力向上 (経営会議と連動)	省エネの推進	電気使用量削減●●%
	次世代育成に不安	生産性向上 (JIT活動と連動) 意欲的な若手社員の発見	社員の意識向上	JIT活動発表会に向けて
	不良品が多い	不良率削減 (品質改善業務計画書に連動)	工程内不良の削減	不良率削減●●%

3. 環境経営方針の策定

文書番号 03-01-01

環境経営方針

基本理念

渡辺プレス工業株式会社は、自動車部品・家電部品・その他の部品のプレス加工・金型加工・組立加工を行う事業所として、自然環境の保全と環境にやさしい事業活動を目指し、効率的な経営をし、環境負荷低減を進め、資源循環型社会の構築に貢献します。

基本方針

1. 環境保全に取り組み、継続的な改善によって環境負荷を削減します。
 - ① プレス等各種設備の電力量削減に努め、CO₂排出量を削減します。
 - ② 産業廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底、再資源化を推進します。
 - ③ 資源の効率利用により、水使用量を削減します。
 - ④ 有害な化学物質を含有する溶剤等の使用量を適正に管理します。
 - ⑤ 環境に配慮した生産活動を推進します。
 - ⑥ 工場周辺の清掃活動を推進します。
2. 事業活動が、環境に与える負荷を的確に捉え、環境経営目標及び環境経営活動計画を策定し、実施すると共に、定期的に見直しを行います。
3. 環境関連法規等を遵守します。
4. 社員教育を通じ、会社内だけでなく、個人生活においても、エコアクション21の精神が浸透するように努めます。
5. この方針は掲示の上、朝礼や会議等を利用して全員に周知させます。

2007年 4月 1日 制定

2010年 4月 1日 改定 I

2011年 4月 1日 改定 II

2019年 4月 1日 改定 III



渡辺プレス工業株式会社

代表取締役会長 渡辺 年晟

渡辺
年晟

代表取締役社長 渡辺 将弘

渡辺
将弘

5. 環境関連法規などの取りまとめ

文書番号 05-01-01

(1) 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

作成日付：2024年 4月 1日(月)

作成者：渡辺 将弘

法規等の名称	適用内容	備考（規制基準値、その他）	管理部門	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の遵守 収集運搬業者及び処分業者の委託契約 マニフェスト管理 委託契約書、マニフェストの保管 マニフェスト交付状況報告	表示板掲示（60 c m以上） 契約書、業者の認可証 伝票の整理、保管 （A・B2・D・E票） 5年間の保管 1年分を6／Eに提出	管理部	○ 2024.4 提出済
騒音規制法 静岡県生活環境 保全条例	特定施設からの騒音に関する 規制基準の遵守及び施設の届出 （第4種区域） 騒音規制基準:dB 昼間 朝・夕 夜間 70 65 60	特定施設 機械プレス(150トン以上)6台 空気圧縮機(22Kw以上)2台	管理部	○ 2011.8 届出済
振動規制法 静岡県生活環境 保全条例	特定施設からの振動に関する 規制基準の遵守及び施設の届出 （第2種区域の2）振動規制基準:dB AM8～PM8 PM8～AM8 65 55	特定施設 機械プレス(150トン以上)6台 空気圧縮機(22Kw以上)2台	管理部	○ 2011.8 届出済
公害防止組織整備法	公害防止管理者等の選任とその届出	公害防止統括者 渡辺 年晟 公害防止管理者（騒音・振動） 渡辺 年晟 渡辺 将弘	管理部	○ 2015.7 届出済
静岡市産業廃棄物の 適正な処理に関する 条例	産業廃棄物管理責任者の選出 産業廃棄物処理の委託先の 実地確認とその記録の保存	産業廃棄物管理責任者 渡辺 将弘 年1回以上実地確認	管理部	○ 2013.8 実施済
労働安全衛生法	通知対象物質の現場への徹底 健康診断の徹底 じん肺 通常健康診断	現場への備え付け 技術課（金型業務関係） 1回/3年 その年度の3月に実施 1回/1年 次年度の1月中旬に届出 全従業員 年1回実施	管理部	○ じん肺検診 2021.3 実施済 2024.1 届出済 健康診断 2023.12 実施済
消防法	危険物の少量保管 誘導灯の設置	指数0.2未満のこと 設置のこと	管理部	定期検査 2011.1 改善済
フロン排出抑制法	冷凍空調機器 簡易点検 すべての機器 定期点検 空調機50KW以上 空調機7.5～50KW 冷凍・冷蔵機器	全ての第一種特定機種が対象 1回以上／3ヶ月（無資格可） 1回以上／1年（有資格者） 1回以上／3年（有資格者） 1回以上／1年（有資格者）	管理部	定期検査 該当機器 なし 簡易検査 別紙 実施済

(2) 更新時期

毎年年1回実施します

(3) 訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も3年間ありませんでした。

6. 環境経営目標策定(2023年度実績及び中期目標)

文書番号 06-01-01

定常管理項目(電力・化石燃料・廃棄物・排水)の環境目標値は、直近の2022年度の数値を基準として年率0.3%の削減値を目標値化した。他項目は個別に設定した。年度は、4月～翌年3月とする。

①二酸化炭素排出量の削減 「購入電力のCO₂排出係数は、0.433 (Kg-CO₂/KWH) (2020年度発表)を使用。

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)	2023年度	2024年度	2025年度
Kg-CO ₂		2022年度の実績 108,393	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	108,068	107,743	107,417
			実績値	102,505		
電力量削減	kWh	2022年度の実績 239,401	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	238,683	237,965	237,246
			実績値	226,119		
化石燃料削減 (ガソリン)	L	2022年度の実績 1,546	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	1,541	1,537	1,532
			実績値	1,487		
化石燃料削減 (軽油)	L	2022年度の実績 183.6	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	183.0	182.5	181.9
			実績値	96.9		
化石燃料削減 (灯油)	L	2022年度の実績 270	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	269	268	268
			実績値	360		

②廃棄物排出量の削減

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)	2023年度	2024年度	2025年度
一般廃棄物の削減 (緑のゴミ袋)	t	2022年度の実績 0.371	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	0.370	0.369	0.368
			実績値	0.374		
産業廃棄物の削減 (有価物：廃プラ)	t	2022年度の実績 0.880	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	0.877	0.875	0.872
			実績値	0.500		
産業廃棄物の削減 (有価物：廃油：水溶性)	ℓ	2020年度～2022年度の合計 0.2000	目標率	合計以下維持	合計以下維持	合計以下維持
			目標値	0.2000	0.2000	0.2000
			実績値	0.0000		
産業廃棄物の削減 (有価物：廃油：グリス)	ℓ	2020年度～2022年度の合計 0.2000	目標率	合計以下維持	合計以下維持	合計以下維持
			目標値	0.2000	0.2000	0.2000
			実績値	0.2000		
産業廃棄物の削減 (有価物：木くず)	t	2022年度の実績 1.180	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	1.176	1.173	1.169
			実績値	0.290		

③水使用量(総排水量)の削減

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)	2023年度	2024年度	2025年度
節水	m ³	2022年度の実績 310	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	309	308	307
			実績値	256		

④化学物質の適正管理

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)	2023年度	2024年度	2025年度
化学物質の増加防止 (P R T R法該当)	Kg	2020年度～2022年度の平均 3.5	目標率	平均以下維持	平均以下維持	平均以下維持
			目標値	3.5	3.5	3.5
			実績値	3.6		

⑤製品の環境配慮 (不良率の削減)

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)	2023年度	2024年度	2025年度
不良金額の削減	円	2022年度の実績 854,196	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	851,633	849,071	846,508
			実績値	499,600		

⑥自社テーマ (プレス加工油の削減)

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)	2023年度	2024年度	2025年度
プレス加工油の削減	L	2022年度の実績 2,764	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	2,756	2,747	2,739
			実績値	2,168		
プレスストローク数の増加	SPH	2022年度の実績 1,525	目標率	0.3%	0.6%	0.9%
			目標値	1,530	1,534	1,539
			実績値	1,394		

6. 環境経営計画策定（2023年度計画推進表）

目標達成 : ○
未達成（5%未満）: ▲
未達成（5%以上）: ×

2023年 4月	2023年 5月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月	2023年 12月	2024年 1月	2024年 2月	2024年 3月
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	-------------

● 二酸化炭素 排出量 削減	環境目標	基準値	108,068 ÷ 12 = 9,006	目標	9,006	9,006	9,006	9,006	9,006	9,006	9,006	9,006	9,006	9,006	9,006	108,068
		実績		実績	8,459	7,353	8,448	12,616	9,658	10,038	8,974	7,911	7,597	7,347	7,178	102,505
		単位	Kg-CO2	差	▲ 547	▲ 1,653	▲ 558	3,610	652	1,032	▲ 32	▲ 1,095	▲ 1,409	▲ 1,659	▲ 1,828	▲ 5,563
		達成率		達成率	106%	122%	107%	71%	93%	90%	100%	114%	119%	123%	125%	130%
		単月評価		単月評価	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
● 電気 消費量 削減	環境目標	基準値	238,683 ÷ 12 = 19,890	目標	19,890	19,890	19,890	19,890	19,890	19,890	19,890	19,890	19,890	19,890	19,890	238,683
		実績		実績	18,751	16,271	18,845	28,305	21,496	22,389	19,913	17,369	16,528	15,899	15,503	226,119
		単位	kWh	差	▲ 1,139	▲ 3,619	▲ 1,045	8,415	1,606	2,499	23	▲ 2,521	▲ 3,362	▲ 3,991	▲ 4,387	▲ 5,040
		達成率		達成率	106%	122%	106%	70%	93%	89%	100%	115%	120%	125%	128%	134%
		単月評価		単月評価	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
	環境活動 活動計画	1 日中照明すべてOFF		各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 設備電源こまめにON/OFF		各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3 エアコン温度設定（冷房28度/暖房20度）		各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		4 エアコンフィルター こまめに掃除		各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		5 定時内効率化（残業削減・夕活推進）		各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		6 デマンド導入で傾向調査（夏・冬）		望月K	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		7														
				活動評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				4 半期評価	活動 ○ / 結果 ○			活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ○			活動 ○ / 結果 ○		
				4 半期評価 コメント	● コロナが5類に分類され 先期までの家電好調が コロナ特需である事がわかった。 消費者も外出に消費が向き 家電の生産がガタ落ちであった。			● 夏場の猛暑で 工場空調を フル稼働させたのが 使用量 増加の主因である。 ただ、体調不良者を一人も 出さなかったのは良かった。			● コロナが5類に分類され 先期までの家電好調が コロナ特需である事がわかった。 消費者も外出に消費が向き 家電の生産がガタ落ちであった。			● コロナが5類に分類され 先期までの家電好調が コロナ特需である事がわかった。 消費者も外出に消費が向き 家電の生産がガタ落ちであった。		
● 化石燃料 消費量 削減 （ガソリン）	環境目標	基準値	1,541 ÷ 12 = 128	目標	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	1,541
		実績		実績	147	113	124	155	108	148	152	123	93	103	104	1487
		単位	ℓ	差	19	▲ 15	▲ 4	27	▲ 20	20	24	▲ 5	▲ 35	▲ 25	▲ 24	▲ 11
		達成率		達成率	87%	114%	104%	83%	119%	87%	84%	104%	138%	125%	123%	110%
		単月評価		単月評価	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○
	環境活動 活動計画	1 社用車使用を控える		各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 アイドリングストップの励行		各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3														
		4														
		5														
		6														
		7														
				活動評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				4 半期評価	活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ○		
				4 半期評価 コメント	● 客先所内への納入方法が 細くなり、営業車で 納入を開始したため ガソリン使用料が増えた。			● 客先所内への納入方法が 細くなり、営業車で 納入を開始したため ガソリン使用料が増えた。			● 客先所内への納入方法が 細くなり、営業車で 納入を開始したため ガソリン使用料が増えた。			● 客先所内への納入方法が 細くなり、営業車で 納入を開始したため ガソリン使用料が増えた。 ただし営業日数により減った。		

● 化石燃料 消費量 削減 (軽油)	環境目標	基準値	183.0 ÷ 12 = 15.3	目標	15.3	15.3	15.3	15.3	15.3	15.3	15.3	15.3	15.3	15.3	15.3	183.0
				実績	0.0	17.6	0.0	0.0	39.0	0.0	0.0	40.3	0.0	0.0	0.0	96.9
				差	▲ 15.3	2.4	▲ 15.3	▲ 15.3	23.8	▲ 15.3	▲ 15.3	25.1	▲ 15.3	▲ 15.3	▲ 15.3	▲ 86.1
				達成率	100%	87%	100%	100%	39%	100%	100%	38%	100%	100%	100%	189%
				単月評価	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○
	環境活動 活動計画	1	トラック使用を控える	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2	アイドリングストップの励行	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		3														
		4														
		5														
					活動評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					4 半期評価	活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ○	
					4 半期評価 コメント 是正処置 予防処置 含む	● 客先所内への納入方法が 細くなり、営業車で 納入を開始したため 軽油使用料が増えた。			● 客先所内への納入方法が 細くなり、営業車で 納入を開始したため 軽油使用料が増えた。			● 客先所内への納入方法が 細くなり、営業車で 納入を開始したため 軽油使用料が増えた。			● 客先所内への納入方法が 細くなり、営業車で 納入を開始したため 軽油使用料が増えた。 ただし営業日数により減った。	
● 化石燃料 消費量 削減 (灯油)	環境目標	基準値	269 ÷ 12 = 22	目標	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	269
				実績	0	0	0	0	0	0	0	90	90	90	90	360
				差	▲ 22	▲ 22	▲ 22	▲ 22	▲ 22	▲ 22	▲ 22	68	68	68	68	91
				達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	25%	25%	25%	25%	75%
				単月評価	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	環境活動 活動計画	1	冬期灯油使用量削減	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2	ウォームピスの心がけ	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		3														
		4														
		5														
		6														
		7														
					活動評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					4 半期評価	活動 ○ / 結果 ○			活動 ○ / 結果 ○			活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×	
					4 半期評価 コメント 是正処置 予防処置 含む	● 季節的に使用していない。			● 季節的に使用していない。			● 工場空調の暖房で電気量が 増えるかの選択に迷う。 ストーブの方が使いやすい。 人が増えたので 使用も増えた。			● 工場空調の暖房で電気量が 増えるかの選択に迷う。 ストーブの方が使いやすい。 人が増えたので 使用も増えた。	
● 一般廃棄物 排出量 削減	環境目標	基準値	0.370 ÷ 12 = 0.031	目標	0.031	0.031	0.031	0.031	0.031	0.031	0.031	0.031	0.031	0.031	0.031	0.370
				実績	0.047	0.023	0.028	0.042	0.000	0.084	0.000	0.000	0.053	0.030	0.000	0.374
				差	0.016	▲ 0.008	▲ 0.003	0.011	▲ 0.031	0.053	▲ 0.031	▲ 0.031	0.022	▲ 0.001	▲ 0.031	0.004
				達成率	66%	134%	110%	73%	100%	37%	100%	100%	58%	103%	100%	99%
				単月評価	×	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×
	環境活動 活動計画	1	分別エリア・ルールを徹底させる	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2	紙ごみを分別し、リサイクルへ	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		3	コピー利用回数の削減・両面・裏紙印刷徹底	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		4	使用済手袋の洗濯再利用の徹底	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		5	個人ゴミは持ち帰ろう	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		6														
		7														
					活動評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					4 半期評価	活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×	
					4 半期評価 コメント 是正処置 予防処置 含む	● 大きな清掃をした際に排出が増え			● 大きな清掃をした際に排出が増え			● 大きな清掃をした際に排出が増え			● 大きな清掃をした際に排出が増えた。	

●	産業廃棄物 排出量 削減 廃ブラ スチック	環境目標	基準値 0.8770 単位 t	目標	0.8770
				実績	0.5000
				差	(0.3770)
				達成率	175%
				年間評価	○
		環境活動 活動計画	1 廃棄物（廃ブラ）を計量・記録管理	各担当	○
			2 分別と重量計測をメーカーに要請・定着を図	各担当	○
			3		
			4		
			5		
			6		
			7		
				活動評価	○
				年間評価	活動 ○ / 結果 ○
				年間評価 コメント	● ストレッチフィルムのリサイクル 活動により送料が減った。
				是正処置	
				予防処置 含む	
●	産業廃棄物 排出量 削減 水溶性 廃油	環境目標	基準値 0.200 単位 ℓ	目標	0.2000
				実績	0.0000
				差	▲ 0.200
				達成率	100%
				年間評価	○
		環境活動 活動計画	1 廃棄物（水溶性廃油）を計量・記録管理	各担当	○
			2 分別と重量計測をメーカーに要請・定着を図	各担当	○
			3		
			4		
			5		
			6		
			7		
				活動評価	○
				年間評価	活動 ○ / 結果 ○
				年間評価 コメント	● 何年かに1回レベルと 思われるが、継続して 廃棄されるか 経過を 追って行きたい。
				是正処置	
				予防処置 含む	
●	産業廃棄物 排出量 削減 グリス	環境目標	基準値 0.2000 単位 ℓ	目標	0.2000
				実績	0.2000
				差	0.0000
				達成率	100%
				年間評価	○
		環境活動 活動計画	1 廃棄物（グリス廃油）を計量・記録管理	各担当	○
			2 分別と重量計測をメーカーに要請・定着を図	各担当	○
			3		
			4		
			5		
				活動評価	○
				年間評価	活動 ○ / 結果 ○
				年間評価 コメント	● 何年かに1回レベルと 思われるが、継続して 廃棄されるか 経過を 追って行きたい。
				是正処置	
				予防処置 含む	

● 産業廃棄物 排出量 削減 木くず	環境目標	基準値	1.176	目標	1.176
		単位	t	実績	0.290
				差	▲ 0.886
				達成率	406%
				年間評価	○
	環境活動 活動計画	1	廃棄物（木くず）を計量・記録管理	各担当	○
		2	分別と重量計測をメーカーに要請・定着を図	各担当	○
		3			
		4			
		5			
		6			
		7			
		活動評価	○		
		年間評価	活動 ○ / 結果 ○		
		年間評価 コメント	● 主要のお客様に使用する パレットが、木製からブラ製に 変わりつつあるのが要因と 思われる		
		是正処置 予防処置 含む			

● 水使用量 総排水 排水量 削減	環境目標	基準値 309 ÷ 12 = 26 単位 m3	目標	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	309	
			実績	27	27	24	24	22	22	18	18	20	20	17	17	256
			差	1	1	▲ 2	▲ 2	▲ 4	▲ 4	▲ 8	▲ 8	▲ 6	▲ 6	▲ 9	▲ 9	▲ 53
			達成率	95%	95%	107%	107%	117%	117%	143%	143%	129%	129%	151%	151%	121%
			単月評価	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	環境活動 活動計画	1	冷却水使用時間の短縮	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2	手洗い・トイレ時の節水	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		3														
		4														
		5														
		6														
		7														
				活動評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				4 半期評価	活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ○			活動 ○ / 結果 ○			活動 ○ / 結果 ○		
				4 半期評価 コメント 是正処置 予防処置 含む	● ここ数年の経過を見て 使用料の目標を再設定する。			● 休業で下水使用が減った事が 要因と思われる			● 休業で下水使用が減った事が 要因と思われる			● 休業で下水使用が減った事が 要因と思われる		

● 化学物質 排出量 増加防止	環境目標	基準値	3.5	目標	3.5	
		単位	Kg	以下	実績	3.6
				差	0.1	
				達成率	97%	
				年間評価	○	
	環境活動 活動計画	1	塗付ローラー改善でプレス加工湯塗付量削減	各担当	○	
		2		各担当	○	
		3				
		4				
		5				
				活動評価	○	
				年間評価	活動 ○ / 結果 ×	
				年間評価 コメント	● 灯油に含有するキシレンのみ。	
				是正処置 予防処置 含む		

● 製品の 環境配慮 不良金額 削減	環境目標	基準値 851,633 ÷ 12 = 70,969 単位 円	目標	70,969	70,969	70,969	70,969	70,969	70,969	70,969	70,969	70,969	70,969	70,969	851633	
			実績	52,410	67,901	17,194	56,457	27,181	7,000	27,353	14,389	21,000	14,055	43,329	151,331	499600
			差	▲ 18,559	▲ 3,068	▲ 53,775	▲ 14,512	▲ 43,788	▲ 63,969	▲ 43,616	▲ 56,580	▲ 49,969	▲ 56,914	▲ 27,640	80,362	▲ 352033
			達成率	135%	105%	413%	126%	261%	1014%	259%	493%	338%	505%	164%	47%	170%
			単月評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	環境活動 活動計画	1	プレス金型のメンテ・改善を施し 不良を削減	各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2														
		3														
		4														
		5														
		6														
		7														
				活動評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				4半期評価	活動 ○ / 結果 ○			活動 ○ / 結果 ○			活動 ○ / 結果 ○			活動 ○ / 結果 ×		
				4半期評価 コメント 是正処置 予防処置 含む	● 毎年の積み上げの結果と 思われる。 教育の結果が少しずつ 出てきていると考える。			● 毎年の積み上げの結果と 思われる。 教育の結果が少しずつ 出てきていると考える。			● 毎年の積み上げの結果と 思われる。 教育の結果が少しずつ 出てきていると考える。			● 最後に大きなロット不良を 出してしまった。 発生・流出とも防げた結果を 全員の戒めとした。		

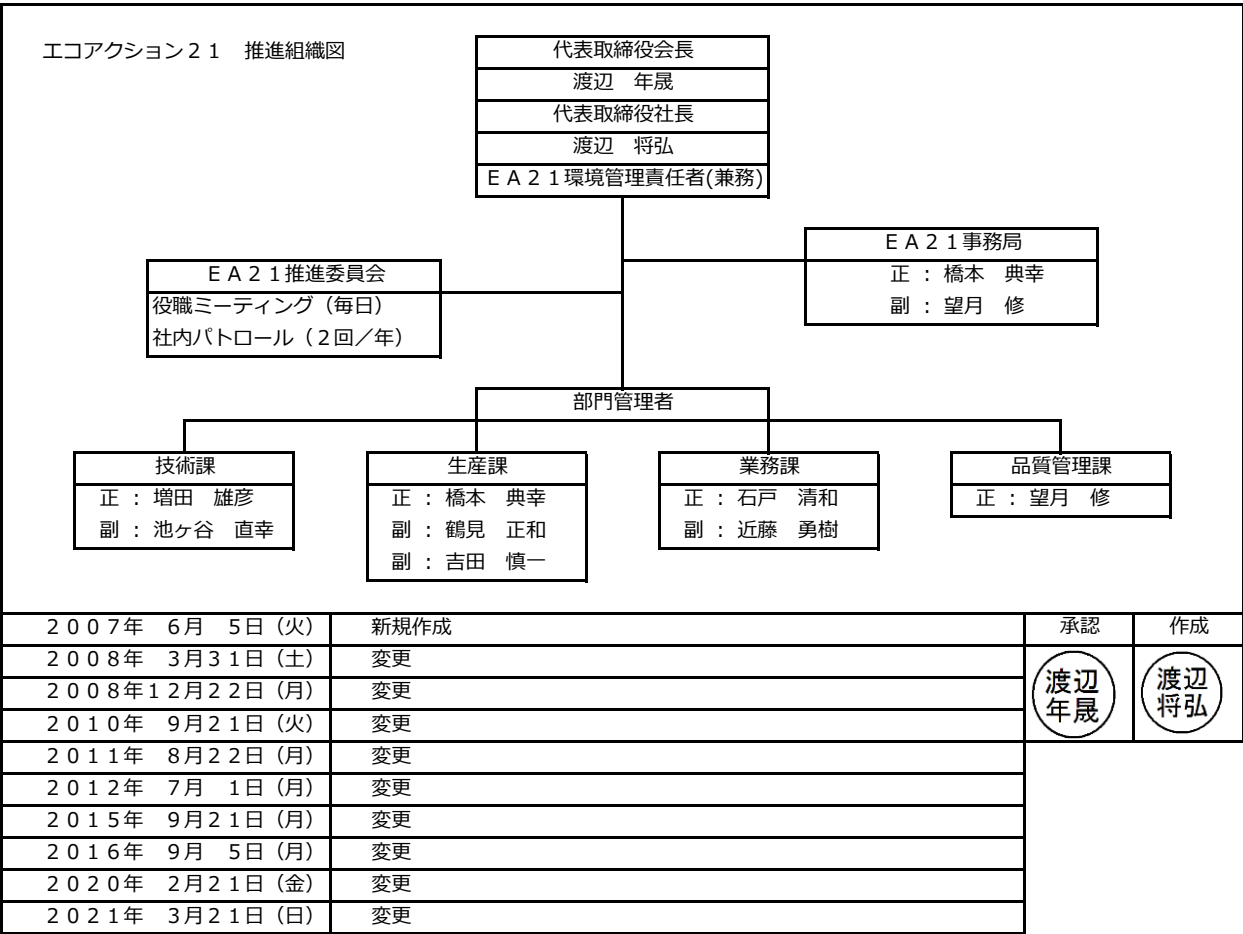
● 自社 テーマ プレス 加工油 使用量 削減	環境目標	基準値	2,756	÷	12	=	230	目標	230	230	230	230	230	230	230	230	230	2,756										
		単位 ℓ	実績	216				234	108	216	108	216	108	306	144	108	2,168											
			差	▲ 14	48	▲ 104	4	▲ 122	▲ 14	▲ 122	▲ 14	▲ 122	76	▲ 86	▲ 122	▲ 588												
			達成率	106%	83%	182%	98%	213%	106%	213%	106%	213%	75%	159%	213%	127%												
			単月評価	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○												
	環境活動 活動計画	1	塗付ローラー改善で塗付量削減															各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2																	○									
		3																										
		4																										
		5																										
		6																										
		7																										
			活動評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
			4半期評価	活動 ○ / 結果 ×				活動 ○ / 結果 ×				活動 ○ / 結果 ○				活動 ○ / 結果 ×												
			4半期評価 コメント 是正処置 予防処置 含む	● 生産量の上下で読めないが かなり落ちている事は、 流れて把握できる。				● 生産量の上下で読めないが かなり落ちている事は、 流れて把握できる。				● 完全に生産量の落ち込みによる。				● 生産量の上下で読めないが かなり落ちている事は、 流れて把握できる。												

● 自社 テーマ プレス ストローク 数の 増加	環境目標	基準値	1,525	AVE	目標	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530	
		単位 SPH	実績	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394
			差	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136	▲ 136
			達成率	91%	91%	91%	91%	91%	91%	91%	91%	91%	91%	91%	91%	91%	91%	91%
			単月評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	環境活動 活動計画	1	生産結果を伝票に入力しよう。			各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2	ダンドラーを有効に活用しよう。			各担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		3																
		4																
		5																
		6																
		7																
						活動評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
						4半期評価	活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×			活動 ○ / 結果 ×		
						4半期評価 コメント 是正処置 予防処置 含む	● 生産が悪化して 作業がだらけてしまった。			● 生産が悪化して 作業がだらけてしまった。			● 生産が悪化して 作業がだらけてしまった。			● 生産が悪化して 作業がだらけてしまった。		

7. 実施体制の構築(環境経営システムの実施体制と役割、責任及び権限)

文書番号 07-01-01

環境経営システムを運用・実施する実施体制は以下である。



実施体制における、各自の役割・責任及び権限を以下の様に定める。

①代表取締役会長・代表取締役社長

- ・環境経営システムの構築並びに見直し・指示
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境経営方針・環境経営目標の決定並びに見直し
- ・環境経営計画の承認
- ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源（人材・設備・資金等）の準備
- ・緊急事態発生時の統括

②環境管理責任者（代表取締役社長(兼務)）

- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の立案
- ・環境経営計画の推進状況把握と代表者への報告
- ・該当環境関連法規等の把握と管理
- ・環境経営システムに関する規定類の整備
- ・環境関連教育、訓練の計画策定と統括
- ・緊急事態発生時の対応実施と報告
- ・問題点発生に対する是正及び予防措置の対応指導
- ・環境経営システムの見直しのための情報を提供

③部門管理者

- ・環境経営計画の推進と必要とする資源の準備
- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・環境教育・訓練の実施
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告
- ・運用管理、監視・測定、記録管理

④E A 2.1 推進委員会

- ・役職ミーティング（1回/日）
- ・経営会議（1回/月）
- ・社内パトロール（1回/月）（環境・安全・品質・5S）

⑤従業員（事務・作業員）

- ・エコ活動の推進・実践 節水・消灯・機械停止・廃棄物・ムダ等の削減に努める
- ・各作業の中での改善 ムダな作業・不良発生に対し改善活動の推進

8. 教育・訓練の実施（キックオフ大会）

文書番号 08-01-01

対象者	全社員		
実施日	2023年 9月20日（水） *4月では、簡単行っただけだったので、あらためて行いました。		
実施時間	AM11:40 ~ AM11:45		
実施場所	渡辺プレス工業株式会社 全体		
実施指導者	MPC 坂田 昇 コンサルタント		
参加者	全社員		
教育・訓練内容及び 教育・訓練資料	E A 2 1 今期活動はじめによるキックオフ大会を行った。 1. 環境方針宣言 橋本製造管理部部長（社長代理） 2. 一斉唱和 増田技術課課長		
評価	全体を通し、真面目な姿勢で取り組んでいた。 理解度としては、OKと思われる。	検印 （環境管理責任者）	渡辺 将弘
実施風景			



8. 教育・訓練の実施（環境講話）

文書番号 08-02-01

対象者	全社員		
実施日	2023年 9月20日（水）		
実施時間	AM11:45 ～ AM11:50		
実施場所	渡辺プレス工業株式会社 全体		
実施指導者	MPC 坂田 昇 コンサルタント		
参加者	全社員		
教育・訓練内容及び 教育・訓練資料	弊社の取り組む「省エネ活動」について、講義を行いました。 1. コンセプト 2. 目標 3. 施策 4. 今後の活動予定 4項目の構成で 分かりやすく話をして頂きました。 （望月品質管理課課長）		
評価	全体を通し、真面目な姿勢で取り組んでいた。 理解度としては、OKと思われる。	検印 （環境管理責任者）	渡辺 将弘
実施風景			



8. 教育・訓練の実施（避難訓練）

文書番号 08-03-01

対象者	全社員		
実施日	2023年 9月20日（水）		
実施時間	AM11:30 ～ AM11:40		
実施場所	渡辺プレス工業株式会社 全体		
実施指導者	橋本隊長		
参加者	全社員		
教育・訓練内容及び 教育・訓練資料	地震が発生し、薬品（プレス加工油）転倒・流出、けが人発生した事を想定し、防災訓練を実施。 東北・関東大震災（2011年 3月11日（金））発生を受けて例年通り、必ず 避難訓練を行うことにしている。		
評価	全体を通し、真面目な姿勢で取り組んでいた。 理解度としては、OKと思われる。 関連する規格・基準の変更はありません。	検印 （環境管理責任者）	
実施風景			

1 1 . 環境上の緊急事態への準備及び対応(緊急事態対応の特定設備・

文書番号 11-01-01

対象設備・対象作業の中で、化学物質等の使用量・保有量が多く、また緊急事態の発生の可能性が比較的大きく、その環境影響が重大と想定される対象設備・対象作業を特定する。それを特定設備・特定作業の欄に○印を付ける。

使用化学物質等 (石油製品等含む)	対象設備 対象作業	対象部門	想定緊急事態	想定環境影響	特定設備 特定作業	緊急事態対応 要領書
キシレン(灯油)	ストーブ	全課	引火・火災	二酸化炭素発生		11-02-01
プレス加工油	保管場所	生産課	河川流出	河川汚染		11-02-01

1 1. 環境上の緊急事態への準備及び対応(緊急対応要領書及び記録)

文書番号 11-02-01

2023年 9月20日(水)

想定される緊急事態の一例として、以下の内容にて訓練を実施する。

また、その内容に問題点がないか検証し、必要により改善する。

承認	作成
橋本	渡辺

1. 緊急事態の想定

地震(勤務時間内の地震発生)による 1. 薬品(プレス加工油)転倒・流出 2. けが人等の事故発生 3. 火災発生

2. 対象

全社員(派遣社員・社内外注含む全従業員)

3. 実施内容(計画)

①訓練当日の朝礼時に、従業員に訓練の説明をする。

②PM12時50分に 地震発生 of 放送をする。ただしその時、作業者は通常の作業を行っている事。

③隊長は全体、小隊長は担当の訓練状況を確認する。

④従業員は、以下の行動をとる。

- ・現場作業者は、機械・設備から離れること。また、小隊長は、その指示をする。
なお、地震発生中のため、揺れが治まるまでの30秒間全員その場に待機する。
- ・30秒後、地震終了の放送をする。
- ・各職場にて次の事を行う。
 - ・出来る限り全ての電源を切る(当日電源遮断禁止の設備については、事前に確認・表示しておくこと)・全員
 - ・避難経路の確保を行う・全員
 - ・消火模擬として、消火器の場所を確認する(当日スムーズにいく様、事前に設置場所を確認しておくこと)・各課全員
 - ・従業員の確認を行う(ケガ人を想定し、救急体制をとる)・役割分担による
 - ・薬品(プレス加工油)の転倒事故発生として、管理責任者は、流出・汚染防止の2次災害防止に努める・役割分担による
(フェルトマットにて取り囲む)
 - ・安全を確認し、避難場所に移動する・小隊長
- ・各小隊長は、全体避難場所にて、点呼を取り、各課従業員の安全を確認し、隊長に報告する。
- ・隊長は、小隊長に処置を指示し、役割に従い処置をする(薬品流出防止・けが人のケア・消化)
- ・隊長は、小隊長からの報告を受けたら、司令(社長)に報告する。必要に応じ、警察・消防署・救急車・環境保全課へ連絡する。
- ・司令(社長)が訓練の講評を行い、訓練終了する。

2023年 9月20日(水)

4. 実施内容の評価(環境上の問題点含め判断すること)

訓練実施日 : 2023年 9月20日(水) AM11時30分

承認	作成
橋本	渡辺

・作業者は、指示通りにスムーズにできたか?	出来た。
・現場管理者は、作業者に指示できたか?	出来た。
・設備や照明の電源は切ってあったか?	切ってあった。
・消火器の場所は 把握できたか?	把握出来ていた。
・小隊長の人員把握はすぐにできたか?	出来た。
・小隊長→隊長→司令 への 連絡は、スムーズにできたか?	出来た。
・総合判断 真面目に取り組み、発生→待避→避難→点呼までかなり時間が素早くなった。	
・気付いた点・改善事項 実際に起こった時に いかに着いて行動出来るか 次回以降も真面目に取り組ませる事。	

12. 文書類の作成・管理

文書番号 12-01-01

付表	必須 文書	記録 推奨
----	----------	----------

環境経営マニュアル	○	
環境経営マニュアル 付表 → 環境経営レポートへ	○	

I 計画の策定(Plan)

1 取組の対象組織・活動の明確化	01-01-01/02	○	
2 代表者による経営における課題とチャンスの明確化	02-01-01		○
3 環境経営方針の策定	03-01-01	○	
4 環境への負荷と環境への取組状況の把握及び評価	04-01-01		○
① 環境への負荷の自己チェック			
② 環境への取組の自己チェック			
③ 環境への取組の自己チェック結果集計表			
5 環境関連法規などの取りまとめ	05-01-01		
6 環境経営目標及び環境経営計画の策定	環境経営目標	06-01-01	○
	環境経営計画推進表	06-02-01	○

II 計画の実施(Do)

7 実施体制の構築	07-01-01	○	
8 教育・訓練の実施	08-01-01		○
9 環境コミュニケーションの実施	改善提案用紙	09-01-01	○
	環境に関する苦情・要望受付票	09-02-01	○
10 実施及び運用	10-01-01		○
11 環境上の緊急事態への準備及び対応	緊急事態対応の特定設備・作業	11-01-01	○
	緊急対応用要領書及び記録	11-02-01	○
12 文書類の作成・管理	12-01-01	○	

III 取組状況の確認及び評価(Check)

13 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防	年度比較と月別累積	13-01-01/02/03/04	○
	トピックス	13-02-01	○
	トピックス	13-02-02	○
	環境問題の是正処置・予防処置	13-03-01	○

IV 全体評価と見直し(Act)

14 代表者による全体の評価と見直し・指示	14-01-01		○
-----------------------	----------	--	---

V 環境情報を用いたコミュニケーション(環境経営レポートの作成及び公表と活用)

15 環境経営レポートの作成	○	
16 環境経営レポートの公表と活用	○	
17 エネルギー使用量など環境データの提供・活用		○

二酸化炭素排出量の削減

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
二酸化炭素 排出量 削減 総量 0.3%削減		目標総量 108072 に対し、 実績総量 102409 であり、 目標に対して達成出来た。 コロナ禍は家電業界にとって 特需だったと考える。 特需後の生産減による稼働減で 送料が減った。
		評価 (○) 結果は良好だったが、 生産に左右されやすい。 引き続き、設備的な改善を 探求する。

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
電力量 削減 総量 0.3%削減		目標総量 238680 に対し、 実績総量 226119 であり、 目標に対して達成出来た。 生産減による使用量減という事で 結果が出ている。
		評価 (○) 引き続き、設備の使用法改善を 探求する。

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
化石燃料 (ガソリン) 削減 総量 0.3%削減		目標総量 1536 に対し、 実績総量 1487 であり、 目標に対して達成出来た。 ほとんど変わらないが 少しずつ気を付けて運転を 心掛けてもらった。
		評価 (○) 引き続きの納入形態になるが 前向きな現状維持を心がける。

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
化石燃料 (軽油) 削減 総量 0.3%削減		目標総量 183.6 に対し、 実績総量 96.9 であり、 目標に対して達成出来た。 効率の良い運送コースと 土曜出勤を金曜納入に 切り替える事でトラックの 使用回数が減った。
		評価 (○) 引き続きの納入形態になるが 前向きな現状維持を心がける。

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
化石燃料 (灯油) 削減 総量 0.3%削減		目標総量 264 に対し、 実績総量 360 であり、 目標に対して達成出来なかった。 外注先廃業により、社内に受け入れた 仕事に対しての人が増え 暖を取る 部分が増えた事があげられる。
		評価 (×) 引き続きの使用形態(ストーブ)になるが 前向きな現状維持を心がける。 節約を継続して呼びかける。

産業廃棄物排出量の削減

取組項目と 年度目標	年度 比較	グラフ	取組結果																																						
廃プラスチック 削減		<table><caption>廃プラスチック削減 年度比較</caption><tr><th>年度</th><th>削減率</th></tr><tr><td>2006</td><td>0.22</td></tr><tr><td>2007</td><td>0.32</td></tr><tr><td>2008</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2009</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2010</td><td>0.42</td></tr><tr><td>2011</td><td>0.18</td></tr><tr><td>2012</td><td>0.58</td></tr><tr><td>2013</td><td>0.32</td></tr><tr><td>2014</td><td>1.18</td></tr><tr><td>2015</td><td>0.25</td></tr><tr><td>2016</td><td>0.12</td></tr><tr><td>2017</td><td>0.12</td></tr><tr><td>2018</td><td>0.25</td></tr><tr><td>2019</td><td>0.62</td></tr><tr><td>2020</td><td>0.65</td></tr><tr><td>2021</td><td>0.58</td></tr><tr><td>2022</td><td>0.85</td></tr><tr><td>2023</td><td>0.50</td></tr></table>	年度	削減率	2006	0.22	2007	0.32	2008	0.00	2009	0.00	2010	0.42	2011	0.18	2012	0.58	2013	0.32	2014	1.18	2015	0.25	2016	0.12	2017	0.12	2018	0.25	2019	0.62	2020	0.65	2021	0.58	2022	0.85	2023	0.50	目標総量 0.8770 に対し、実績総量 0.5000 であり、目標に対して達成出来た。 ストレッチフィルムの分別でリサイクル出来る量が増え廃プラスチックとして処理する送料が減った。
年度	削減率																																								
2006	0.22																																								
2007	0.32																																								
2008	0.00																																								
2009	0.00																																								
2010	0.42																																								
2011	0.18																																								
2012	0.58																																								
2013	0.32																																								
2014	1.18																																								
2015	0.25																																								
2016	0.12																																								
2017	0.12																																								
2018	0.25																																								
2019	0.62																																								
2020	0.65																																								
2021	0.58																																								
2022	0.85																																								
2023	0.50																																								
総量 0.3%削減			評価 評価 (○) 今後も、分別ルールの再教育を含め削減指導を徹底し、継続して維持する事。さらに絶対量を減らす意識付けをする事。																																						
取組項目と 年度目標	年度 比較	グラフ	取組結果																																						
水溶性廃油 削減		<table><caption>水溶性廃油削減 年度比較</caption><tr><th>年度</th><th>削減率</th></tr><tr><td>2006</td><td>0.40</td></tr><tr><td>2007</td><td>0.60</td></tr><tr><td>2008</td><td>1.15</td></tr><tr><td>2009</td><td>0.20</td></tr><tr><td>2010</td><td>0.18</td></tr><tr><td>2011</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2012</td><td>0.82</td></tr><tr><td>2013</td><td>0.42</td></tr><tr><td>2014</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2015</td><td>0.85</td></tr><tr><td>2016</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2017</td><td>0.50</td></tr><tr><td>2018</td><td>0.30</td></tr><tr><td>2019</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2020</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2021</td><td>0.60</td></tr><tr><td>2022</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2023</td><td>0.00</td></tr></table>	年度	削減率	2006	0.40	2007	0.60	2008	1.15	2009	0.20	2010	0.18	2011	0.00	2012	0.82	2013	0.42	2014	0.00	2015	0.85	2016	0.00	2017	0.50	2018	0.30	2019	0.00	2020	0.00	2021	0.60	2022	0.00	2023	0.00	目標総量 0.2000 に対し、実績総量 0.0000 であり、目標に対して達成出来た。 金型受注の低迷によるもの。
年度	削減率																																								
2006	0.40																																								
2007	0.60																																								
2008	1.15																																								
2009	0.20																																								
2010	0.18																																								
2011	0.00																																								
2012	0.82																																								
2013	0.42																																								
2014	0.00																																								
2015	0.85																																								
2016	0.00																																								
2017	0.50																																								
2018	0.30																																								
2019	0.00																																								
2020	0.00																																								
2021	0.60																																								
2022	0.00																																								
2023	0.00																																								
総量 0.3%削減			評価 評価 (○) 無いのはいいが、受注を増やしたいのが本音である。																																						
取組項目と 年度目標	年度 比較	グラフ	取組結果																																						
グリス廃油 削減		<table><caption>グリス廃油削減 年度比較</caption><tr><th>年度</th><th>削減率</th></tr><tr><td>2018</td><td>0.20</td></tr><tr><td>2019</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2020</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2021</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2022</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2023</td><td>0.20</td></tr></table>	年度	削減率	2018	0.20	2019	0.00	2020	0.00	2021	0.00	2022	0.00	2023	0.20	目標総量 0.2000 に対し、実績総量 0.2000 であり、目標と同じであった。 機械を入れ替えた際の廃グリス。																								
年度	削減率																																								
2018	0.20																																								
2019	0.00																																								
2020	0.00																																								
2021	0.00																																								
2022	0.00																																								
2023	0.20																																								
総量 0.3%削減			評価 評価 (△) 機械入れ替えのイベントによるものなので 参考とする。																																						
取組項目と 年度目標	年度 比較	グラフ	取組結果																																						
木くず 削減		<table><caption>木くず削減 年度比較</caption><tr><th>年度</th><th>削減率</th></tr><tr><td>2006</td><td>1.50</td></tr><tr><td>2007</td><td>0.80</td></tr><tr><td>2008</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2009</td><td>1.25</td></tr><tr><td>2010</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2011</td><td>0.58</td></tr><tr><td>2012</td><td>1.20</td></tr><tr><td>2013</td><td>0.85</td></tr><tr><td>2014</td><td>1.05</td></tr><tr><td>2015</td><td>0.90</td></tr><tr><td>2016</td><td>1.58</td></tr><tr><td>2017</td><td>1.10</td></tr><tr><td>2018</td><td>0.80</td></tr><tr><td>2019</td><td>0.00</td></tr><tr><td>2020</td><td>1.00</td></tr><tr><td>2021</td><td>0.98</td></tr><tr><td>2022</td><td>1.18</td></tr><tr><td>2023</td><td>0.28</td></tr></table>	年度	削減率	2006	1.50	2007	0.80	2008	0.00	2009	1.25	2010	0.00	2011	0.58	2012	1.20	2013	0.85	2014	1.05	2015	0.90	2016	1.58	2017	1.10	2018	0.80	2019	0.00	2020	1.00	2021	0.98	2022	1.18	2023	0.28	目標総量 1.176 に対し、実績総量 0.290 であり、目標に対して達成出来た。 客先への使用パレットが木製からプラ製に変わりつつあるのが要因と思われる。
年度	削減率																																								
2006	1.50																																								
2007	0.80																																								
2008	0.00																																								
2009	1.25																																								
2010	0.00																																								
2011	0.58																																								
2012	1.20																																								
2013	0.85																																								
2014	1.05																																								
2015	0.90																																								
2016	1.58																																								
2017	1.10																																								
2018	0.80																																								
2019	0.00																																								
2020	1.00																																								
2021	0.98																																								
2022	1.18																																								
2023	0.28																																								
総量 0.3%削減			評価 評価 (○) 輸送用のスキットをさらに返却できないか もう少し相談を進めていきたい。																																						

13. 取組状況の確認・評価、並びに是正及び予防(一般廃棄物・水・化学物質)(年度比較と月別累積)

文書番号 13-01-03

一般廃棄物排出量の削減

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
一般廃棄物 削減 総量 0.3%削減	年度比較 月別累積	目標総量 0.372 に対し、 実績総量 0.374 であり、 目標に対して達成出来なかった。 絶対量を減らしたい。 評価 (×) 今後も、分別ルールの再教育を含め 削減指導を徹底し、 継続して維持する事。 絶対量を減らす意識付けもする事。

水使用量の削減

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
節水 総量 0.3%削減	年度比較 月別累積	目標総量 312 に対し、 実績総量 256 であり、 目標に対して達成出来た。 休業で下水使用が減った事が 要因と思われる。 評価 (○) 休業があげたら また経過を確認する。

化学物質の適正管理

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
化学物質の 増加防止 総量 0.3%削減	年度比較	目標総量 3.5 に対し、 実績総量 3.6 であり、 目標に対して達成出来なかった。 加工油の含有物はなくなった。 残るは灯油のキシレンのみ。 人が増えたので、使用量が 増えた可能性おおいにあり。 評価 (×) さらに削減すべく 工夫する事。 もっと節約を意識づけさせる事。

13. 取組状況の確認・評価、並びに是正及び予防(環境配慮(不良)・
自主テーマ:プレス加工油削減・プレスストローク増加)(年度比較と月別累積)

文書番号 13-01-04

製品の環境配慮(不良指数の削減)

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
不良金額の 削減 総量 0.3%削減	年度比較 月別累積	目標総量 8516428 に対し、 実績総量 499600 であり、 目標に対して達成出来た。 品質を織り込む事と 教育の成果と考える。 評価 評価 (○) 各課の教育を厚くし、 さらなる教育が必要。 各課連携をとり 施策を打ちたい。 外注への成果が出ている。 工程内への取組を今年度も実施。

自社テーマ

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
プレス加工油 削減 総量 0.3%削減	年度比較 月別累積	目標総量 2760 に対し、 実績総量 2168 であり、 目標に対して達成出来た。 完全に生産減が 使用量削減につながったと考える。 評価 評価 (○) 生産が元に戻っても 総量が多くならない様 工夫する事が必要。

取組項目と 年度目標	グラフ	取組結果
プレス ストローク 増加 総量 0.3%増加	年度比較 月別累積	目標総量 1530 に対し、 実績総量 1394 であり、 目標に対して達成出来なかった。 生産減で生産効率が悪化して しまった。 評価 評価 (×) 客先のJIT活動と連動しており 引き続き共通テーマで 改善を進める事。

13. 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防（改善事例1）

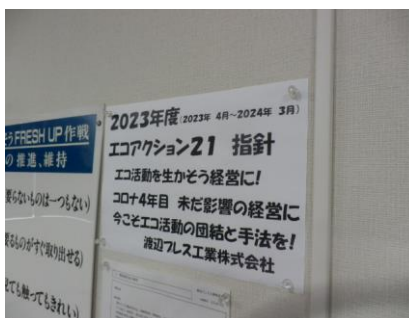
文書番号 13-02-01

2023年 9月20日（水）（改めて）

今年度キックオフ大会



表示によるアピール



環境講座の継続（防災中心）



2023年 9月20日（水） 防災訓練（東日本大震災を受けて、今年もきちんと実施）

避難・誘導



点呼・各班からの報告



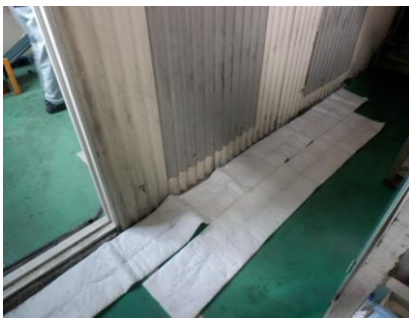
隊長への報告



ケガ人の搬出



プレス加工油流出防止マット



アドバイザー・管理者からの講評



2023年 7月 7日（金） エコ環境整備
工場整備



美化活動



産業廃棄物処理の委託先の実地確認
三和金属様視察



エコ環境5Sパトロール ミーティング



品質向上委員会 継続実施中



毎朝礼での全員呼称（環境意識の高揚）



13. 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防（改善事例2）

文書番号 13-02-02

2023年 7月 5日（水）

簡易点検と清掃(フロン排出抑制法)



2023年 7月 5日（水）

今年も緑のカーテン実施



2024年 1月15日（月）

能登地震を受け備蓄を開始



2023年 3月 1日（金）

無災害記録掲示板の新規設置



2023年 3月 1日（金） 来期の熱中症対策

としてスポットクーラーを準備



2023年 3月20日（水） 来期の熱中症対策

明り取り遮光塗料塗布



2023年 4月21日（金）～ 2023年 4月24日（月） プレス機更新160㊦(使用電力量削減)

設置エリア



レバラー搬入風景



プレス搬入風景



レバラー設置



プレス設置



稼働開始



2023年12月13日（水）～ 2023年12月15日（金） 外注先廃業により プレス機械を社内へ移設(廃業多く他の外注先なし)

プレス移設



エアー工事



電気工事



14. 代表者による全体の評価と見直し・指示

文書番号 14-01-01

承認	作成

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項 目	確 認	(必要に応じて評価・コメント記載)
	1 エコアクション2.1文書	☒	2018年10月25日(木)現在、改定はありません。 (ガイドライン2017年度版対応の環境経営マニュアル制定)
	2 環境経営目標及び目標達成状況	☒	コロナ特需であった家電業界は、コロナ禍開けに販売不振 生産減にて 各項目 目標達成とはなりましたが複雑です。
	3 環境経営活動計画及び取組実施状況	☒	各リーダーを先頭に活動出来ました。 更なる積極的な活動とその成果を期待します。
	4 環境関連法規等要求一覧及び遵守状況	☒	特に問題ありませんでした。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	☒	特に問題ありませんでした。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	特に問題ありませんでした。
	7 取引先・業界・関係行政機関・その他の外部動向	☒	特に問題ありませんでした。
	8 その他	☒	特に問題ありませんでした。
2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 見 直 し 評 価 指 示	全体評価・コメント (環境経営システムの有効性・ 環境への取組の適切性等)	コロナ禍は、家電業界にとっては 今考えると巣ごもり需要で特需だったと 考えてもいいと思われる。特需後は、販売不振・生産減となるからである。 生産減となったので、各項目の目標値を下回る結果となり良かったが 複雑な心境である。 今年は、更新だが 大きな設備を入れた。まずは、生産が通常に戻り 機械が十分能力を発揮出来る条件になったところで どの様に 目標を達成していくか試してみたい。 しばらくは我慢の続く生産状況だが、エコでの数字を経営目標の中に 落とし込んで いろいろな角度から改善を試みていきたい。	
	見 直 し 項 目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有 ☒ 無 ☐	変更はありません。 全従業員に周知・徹底します。
	2 環境経営目標・計画	有 ☒ 無 ☐	変更はありません。
	3 環境経営計画・取組項目	有 ☒ 無 ☐	ストレッチフィルムの分別によるリサイクルを実現できた。 引続きルールを徹底する様 全従業員に周知・徹底します。
	4 環境経営に関する組織	有 ☒ 無 ☐	変更はありません。
	5 その他のシステム要素	有 ☒ 無 ☐	変更はありません。
	6 その他 (外部への対応)	有 ☒ 無 ☐	変更はありません。

2024年 5月24日(金)
渡辺プレス工業株式会社



代表取締役会長 渡辺 年晟

代表取締役社長 渡辺 将弘

15. 環境経営目標及び環境経営計画の策定(環境経営目標推進表)(次年度計画)

文書番号 15-01-01

定常管理項目(電力・化石燃料・廃棄物・排水)の環境目標値は、直近の2022年度の数値を基準として年率0.3%の削減値を目標値化した。他項目は個別に設定した。年度は、4月～翌年3月とする。

①二酸化炭素排出量の削減 「購入電力のCO₂排出係数は、0.433 (Kg-CO₂/KWh) (2020年度発表)を使用。

単位	基準値	目標 (総量)			
Kg-CO ₂	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
	108,393	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
		目標値	108,068	107,743	107,417
		実績値	102,505		

2024年度の重点取組

下記4項目をより推進していく

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)			
電力量削減	kWh	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		239,401	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	238,683	237,965	237,246
			実績値	226,119		
化石燃料削減 (ガソリン)	L	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		1,546	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	1,541	1,537	1,532
			実績値	1,487		
化石燃料削減 (軽油)	L	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		183.6	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	183.0	182.5	181.9
			実績値	96.9		
化石燃料削減 (灯油)	L	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		270	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	269	268	268
			実績値	360		

デマンド監視装置設定をもう一段下げる
161kWh → 160kWh

配送ルートの再設定(短距離化)

配送ルートの再設定(短距離化)

こまめな入り切りを再度徹底

②廃棄物排出量の削減

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)			
一般廃棄物 の削減 (緑のゴミ袋)	t	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		0.371	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	0.370	0.369	0.368
			実績値	0.374		
産業廃棄物 の削減 (有償物：廃プラ)	t	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		0.880	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	0.877	0.875	0.872
			実績値	0.500		
産業廃棄物 の削減 (有償物：廃油：水溶性)	ℓ	2020年度～2022年度の合計		2023年度	2024年度	2025年度
		0.2000	目標率	合計以下維持	合計以下維持	合計以下維持
			目標値	0.2000	0.2000	0.2000
			実績値	0.0000		
産業廃棄物 の削減 (有償物：廃油：グリス)	ℓ	2020年度～2022年度の合計		2023年度	2024年度	2025年度
		0.2000	目標率	合計以下維持	合計以下維持	合計以下維持
			目標値	0.2000	0.2000	0.2000
			実績値	0.2000		
産業廃棄物 の削減 (有償物：木くず)	t	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		1.180	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	1.176	1.173	1.169
			実績値	0.290		

朝礼で教育を徹底する

あらゆるリサイクルを探す

きちんと現状維持する

きちんと現状維持する

パレット破損の木くずを減らす様
運輸に指導を重ねて行う

③水使用量(総排水量)の削減

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)			
節水	m ³	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		310	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	309	308	307
			実績値	256		

きちんと現状維持する

④化学物質の適正管理

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)			
化学物質 の増加防止 (P R T R法該当)	Kg	2020年度～2022年度の平均		2023年度	2024年度	2025年度
		3.5	目標率	平均以下維持	平均以下維持	平均以下維持
			目標値	3.5	3.5	3.5
			実績値	3.6		

きちんと現状維持する

⑤製品の環境配慮 (不良率の削減)

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)			
不良金額 の削減	円	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		854,196	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	851,633	849,071	846,508
			実績値	499,600		

品管と協力して情報レベルの課題を
潰すようにする

⑥自社テーマ (プレス加工油の削減)

環境目標項目	単位	基準値	目標 (総量)			
プレス加工油 の削減	L	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		2,764	目標率	-0.3%	-0.6%	-0.9%
			目標値	2,756	2,747	2,739
			実績値	2,168		
プレス ストローク数 の増加	SPH	2022年度の実績		2023年度	2024年度	2025年度
		1,525	目標率	0.3%	0.6%	0.9%
			目標値	1,530	1,534	1,539
			実績値	1,394		

塗布ローラーの導入を再検討

5S活動時間を設け稼働時間に制限をし
時間あたりのストローク数UPをさらに
指示する

1 5. 実施及び運用（次年度計画）

文書番号 15-02-01

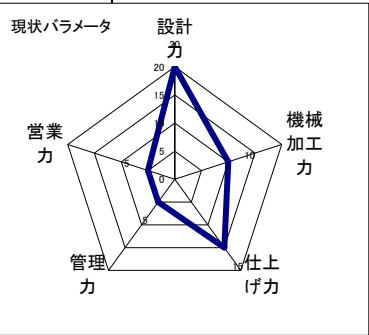
運用活動事項

○ 計画

● 実施

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体行事			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
幹部行事			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境経営システム														
I 計画の策定(Plan)														
1	取組の対象組織・活動の明確化	見直し 環境管理責任者	○											
2	代表者による経営における課題とチャンスの明確化	見直し 社長	○											
3	環境経営方針の策定	見直し 社長	○											
4	環境への負荷と環境への取組状況の把握及び評価													
	① 二酸化炭素排出係数の見直し	見直し 環境管理責任者	○											
	② 環境への負荷・取組の自己チェック	作成 環境管理責任者	○											
5	環境関連法規などの取りまとめ													
	① 産業廃棄物管理表交付状況報告	提出 環境管理責任者	○											
	② 産業廃棄物処理委託先の実地確認	実施 環境管理責任者	○											
6	環境経営目標及び環境経営計画の策定	実施 環境管理責任者	○											
II 計画の実施(Do)														
7	実施体制の構築	見直し 環境管理責任者	○											
8	教育・訓練の実施 環境講話・非難訓練	実施 環境管理責任者							○					
9	環境コミュニケーションの実施 状況報告	昼礼 環境管理責任者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	実施及び運用 実績フォロー	昼礼 環境管理責任者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	環境上の緊急事態への準備及び対応 避難訓練	見直し 環境管理責任者							○					
12	文書類の作成・管理 マニュアル等	見直し 環境管理責任者	○											
III 取組状況の確認及び評価(Check)														
13	取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防													
	① 取組状況の確認・評価	昼礼 環境管理責任者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	② 目標の達成状況チェック	昼礼 環境管理責任者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IV 全体評価と見直し(Act)														
14	代表者による全体の評価と見直し・指示													○
	① 環境経営マニュアル及びその他手順書見直し指示	見直し 社長												○
	② 次年度計画の作成指示	見直し 社長												
V 環境情報を用いたコミュニケーション(環境経営レポートの作成及び公表と活用)														
15	環境経営レポートの作成	作成 環境管理責任者			○									
16	環境経営レポートの公表と活用				○									
	① 従業員に報告	報告 環境管理責任者			○									
	② エコアクション21事務局に送付	提出 環境管理責任者			○									
17	エネルギー使用量など環境データの提供・活用	提供 社長			○									
エコアクション21審査 中間審査/更新審査									○		○			
環境関連行事														
	① 行政機関 環境月間	告知 環境管理責任者	○											
	② 社会貢献活動(側溝清掃)	指示 環境管理責任者						○						

15. 投資 中・長期計画

対象課	分類	内容	現状	施策	緊急	計画日程	将来
全体	人的投資	組織変革	能力と次世代に応じた組織と対価		(コロナ禍の巣ごもり特需後の生産減を乗り越えること)	2023年 基盤構築 導入	
	物的投資	人事評価システム 業務分掌				2023年 基盤構築 導入	
技術課	人的投資	基盤構築	課として確立していない 役割分担不明確 業務内容・進捗不明確 採算不明確	人事異動・人事採用		月次採算管理継続 課題追求(共通テーマ)	導入中 導入中 営業・設計 機械加工 機械加工 仕上げ・メンテ 分業体制(役割分担) 定期的に循環する
							
		人材育成 (技術伝承)					
	物的投資	160tコイル仕様トライプレス移設 150tシングル仕様トライプレス修繕				2023年 基盤構築 工場内5S 設備5S 区画整理	
生産課	人的投資						
	物的投資						
業務課	人的投資	省人化	固定費増大(60万円/月) 4年前 現在 チャーター 月水金半日 フル 35万/月増加 人工 2.5人工 3.5人工 25万/月増加				
	物的投資	自動倉庫				2023年 計画・試算 開始	
品管課	人的投資	人材確保		延長雇用			
	物的投資						
事務所	人的投資	省人化	固定費削減				
	物的投資	電子化					